

埼玉医科大学国際医療センター

病院長 佐伯 俊昭 殿

埼玉医科大学国際医療センター

医療の質・医療安全監査委員会

委員長 長尾 能雅

## 令和 7 年度第 2 回医療の質・医療安全監査報告書

埼玉医科大学国際医療センター医療の質・医療安全監査委員会規則第 3 条に則り実施した監査結果につき報告します。

監査は、担当業務責任者等からの報告及び質疑応答により実施しました。

### 記

- ・特定機能病院で求められている医療安全・感染対策の要件は満たしている。

#### 【医療安全】

- ・世界患者安全の日に食堂で行われた取り組みは非常に興味深いものである。
- ・インフォームドコンセントについて、定期的に報告をしていただきたい。
- ・インフォームドコンセントの取り組みとインシデント報告の取り組みは、毎回改善されないと感じており、今後も活発に進めていただきたい。

#### 【臨床研修】

- ・教育と安全の連携について、両者が共同で行うベストプラクティスがあれば、ぜひ共有していただきたい。

#### 【感染対策】

- ・手指衛生の動画については、全職員が視聴できるようにしてほしい。
- ・感染対策において、夜間帯にリンクナースの協力を得た点は特筆すべき取り組みであり、非常に興味深い。

#### 【QMC】

- ・QMC に関して、今回は安全面の説明が少なかったため、次回はぜひ詳しく報告していただきたい。
- ・D4HCU の医師の引き継ぎについては、引き続き状況を報告していただきたい。
- ・クリニックの立場からは、二次・三次救急病院における応需率向上の取り組みを今後も高めていただきたい。
- ・ダヴィンチ 5 が導入されたとのことなので、次回はその最先端手術の報告や内容について教えていただきたい。
- ・集中治療室の稼働率向上や手術数の増加がもたらすリスクについて、バランス評価の観点から何か示せるものがあれば、ぜひ共有してほしい。

次回以降確認したいことは以下の通りである。

- (1) インフォームドコンセントの取り組みについて
- (2) 教育と安全の連携について、両者が共同で行うベストプラクティスについて
- (3) QMC の安全面についての説明
- (4) ダヴィンチ 5 の最先端手術の報告や内容
- (5) 集中治療室の稼働率向上や手術数の増加がもたらすリスクについて

以上